**宇和島市戸籍振り仮名記載支援業務
(振り仮名記載に係る環境整備業務) 委託仕様書**

1 目的

戸籍法(昭和 22 年法律第 224 号)の一部改正を含む「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」(令和 5 年法律第 48 号。以下「改正法」という。)の施行により令和 7 年 5 月 26 日から実施される戸籍への氏名の振り仮名記載(以下、「振り仮名記載制度」という。)について、振り仮名記載制度の円滑な実施を目的とし、届書の受付から入力補助、問い合わせ対応等を実施する際の周辺環境の整備を宇和島市(以下「甲」という。)から受託候補者(以下「乙」という。)に対し委託する。

2 業務委託期間

契約締結日から令和 7 年 10 月 10 日まで

ただし、業務の進捗状況、その他の事情により、甲乙協議のうえで委託期間を延長または変更することができる。

3 業務内容

(1) 仮の振り仮名の通知文書の発送状況等を管理するシステムの構築

令和 7 年 5 月 26 日以降に、甲を本籍地とする者に対して通知される仮の振り仮名の通知文書に関する市民からの問い合わせに対応するためのシステムを構築する。

構築されるシステムの要件は以下の①～④のとおりである。

- ①通知文書の発送状況(発送日・発送予定日)を確認できるもの
- ②通知文書の送達状況(発送先・送達状況)を確認できるもの
- ③過去の問い合わせ状況を記録できるもの
- ④通知文書に記載された仮の振り仮名を確認できるもの

(2) 届書情報の入力補助に係るシステム等の構築

令和 7 年 5 月 26 日以降に届出される氏及び名の振り仮名の届書の戸籍への反映にあたり、OCR 及び RPA を活用し、入力作業の軽減を図る事の出来る一連のシステムを構築する。

(3) 上記システムの構築、運用に係る環境整備

4 再委託

乙は、本業務を第三者へ委託(以下「再委託」という。)してはならない。ただし、本業

務の一部をやむを得ず再委託する必要がある場合は、再委託先の名称、再委託する理由、再委託して処理する内容、再委託先において取り扱う情報、再委託先における安全性及び信頼性を確保する対策並びに再委託先に対する管理及び監督の方法を明確にした上で、業務の着手前に、書面により再委託する旨を甲に申請し、その承認を得なければならない。

5 委託料の支払い

業務委託期間満了後、精算払とする。

6 その他

本仕様書に記載していない事項または、疑義が生じた事項については、甲乙が協議の上決定する。